

ネイティブ大腸菌N-アセチルノイラミン酸アルドラーゼ

Cat. No. NATE-0490

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、N-アセチルニューラミン酸リアーゼ (EC 4.1.3.3) は、次の化学反応を触媒する酵素です: N-アセチルニューラミン酸 \leftrightarrow N-アセチル-D-マンノサミン + ピルビン酸。したがって、この酵素は1つの基質、N-アセチルニューラミン酸と、2つの生成物、N-アセチル-D-マンノサミンおよびピルビン酸を持っています。この酵素はリアーゼのファミリーに属し、特に炭素-炭素結合を切断するオキシ酸リアーゼに分類されます。この酵素はアミノ糖の代謝に関与しています。

用途 この酵素は、臨床分析において関連する酵素と結合することで、N-アセチルノイラミン酸およびシアル酸の酵素的測定に役立ちます。産業用途では、この酵素はシアル酸の酵素的合成に有用です。Sialic Acid Quantification Kit、SIALIC-Qで使用されます。

別名 N-アセチルノイラミン酸アルドラーゼ; アセチルノイラミネートリアーゼ; シアル酸アルドラーゼ; シアル酸アルドラーゼ; シアレートリアーゼ; N-アセチルノイラミン酸アルドラーゼ; ノイラミン酸アルドラーゼ; N-アセチルノイラミネートアルドラーゼ; ノイラミン酸アルドラーゼ; N-アセチルノイラミン酸アルドラーゼ; ノイラミネートアルドラーゼ; N-アセチルノイラミン酸リアーゼ; N-アセチルノイラミン酸リアーゼ; NPL; NALase; NANAリアーゼ; アセチルノイラミネートピルビン酸リアーゼ; N-アセチルノイラミネートピルビン酸リアーゼ; 9027-60-5; EC 4.1.3.3

製品情報

由来	大腸菌
形態	リン酸カリウムバッファー塩を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 4.1.3.3
CAS登録番号	9027-60-5
分子量	mol wt ~98 kDa
活性	> 20 ユニット/mg タンパク質 (ピウレット)
等電点	4.6 ± 0.1
pH安定性	pH 6.0-9.0 (10°C, 25時間)
最適pH	7.5- 8.0
熱安定性	65°C未満 (pH 7.5、30分)
最適温度	70°C
ミカエリス定数	2.5 x 10 ⁻³ M (N-アセチルノイラミン酸)
構造	酵素1モルあたり3つのサブユニット (約35 kDa)
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート、十二烷基硫酸ナトリウム、Hg ⁺⁺ 、Ag ⁺
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.7の条件下でNANAから1分あたり1.0μモルのピルビン酸を放出します。

保存方法

-20°C